

ドローンで手作業のムラを解消！ ハウス全体に遮光剤を均一塗布

ハウスの遮光剤 ドローン散布



遮光剤は

太陽光を反射して
作物を熱と光から
守ります

項目	従来の動噴散布	ドローン散布
安全性	✕ 転落の危険性 熱中症のリスク	○ 転落事故リスクゼロ 炎天下での作業不要
吹き付け	△ ムラになりやすい	○ ムラなく均一
作業負担	✕ 重労働による 体力的負担大きい	○ 代行作業のため 体力的負担なし



イチゴ

果実焼け
早熟の抑制

作業時間

10 分 / 500m²

※ハウスおよび周辺の状況によって
作業時間が異なる場合があります



トマト

裂果
着色不良対策

遮光率

20~30%

500m²あたり8Lの散布で遮光
※ドローン散布専用遮光剤の場合



軟弱野菜

病気
葉焼けの抑制

持続性

2~3 ヶ月

吹き付け量、降雨の影響によ
りますが、目安は3ヶ月程度



作業者

危険作業
重労働回避

ドローンによる吹き付け作業



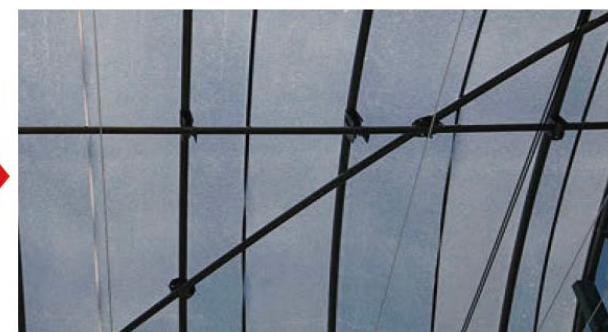
吹き付け後のフィルム表面



吹き付け前(右)と吹き付け後(左)ハウス



吹き付け前(ハウス内)



吹き付け後(ハウス内)

お問い合わせ

現地確認

お見積り

ご依頼

作業実施

お気軽にご連絡下さい

- ・ 品種、支給可能な農薬の有無、トータルの圃場面積をお知らせください。
- ・ 費用は、「代行費用＋農薬代」になります。
- ・ お近くの農家さんとまとめてご依頼なら交通費サービスします。

株式会社クロスコート

名古屋市東区砂田橋三丁目2番107-1401号

TEL : 050-5526-9773 FAX : 050-3582-1670

Mail:info@x-court.com 担当:大屋 (080-5163-4123)

Https:www.x-court.com



果実への障害軽減、管理作業を快適に行うためにも、 ハウスへ早めの遮光剤・遮熱剤の塗布をおすすめします！

遮光材と遮熱剤の違い

ハウスの屋根表面に吹き付けることで、ハウス内に入る光の量や質を変えることができます。遮光剤の濃度によって遮光率を変えられることができるため、作物やハウスの管理状況に合わせて調節することも可能です。どちらも早く落としたい場合は、除去剤を使用します。

- 【遮光材】
太陽光を反射して、イチゴやトマトを熱と光から守ります。
- 【遮熱材】
太陽光のうち温度上昇のもととなる熱線は多く反射して、光合成に必要な光は遮光剤よりも多く透過させることができます。

作物による使用時期のおすすめ

- 【イチゴ】
 - ・遮光剤・・・3月中旬から、収穫終了までの使用をおすすめします。
果実の焼けや高温により成熟が早まるのを抑え、果実品質の低下を防ぐことができます。
 - ・遮熱剤・・・梅雨明けから、育苗終了までの使用をおすすめします。
ハウス温度を下げることで病気の発生や葉焼けを防ぐことができます。
- 【トマト】
 - ・遮光剤・・・7月・8月の定植時期の使用をおすすめします。
 - ・遮熱剤・・・4月・5月からの使用をおすすめします。（早ければ3月から使用するケースも）
果実温度を下げることができ、裂果や着色不良果の減少に効果があります。

遮光剤 ドローン散布の基準単価

遮光剤込みの散布単価（税込）です。詳細確認の上お見積致します。

散布面積	㎡ 単価	散布面積	㎡ 単価
500㎡	¥460	3,000㎡	¥140
1,000㎡	¥260	4,000㎡	¥130
2,000㎡	¥200	7,000㎡	¥120
2,500㎡	¥150	10,000㎡	¥110

- <別途費用>
※状況に応じて発生する場合があります
- ・ハウス事前洗浄
 - ・周辺養生
 - ・高所作業車
 - ・遮光剤除去作業
 - ・遠隔地出張費

★農業用被覆資材（農ビ・農P O等）向けの遮光剤を使用します。
★お近くの農家さんも取りまとめた場合も、上記単価で対応いたします。
2,000㎡以上お申し込みの場合は、遠隔地出張費サービスいたします。